

別表1

(A4)

建築物に係る解体工事

分別解体等の計画等

建築物の構造		☒ 木造 ☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ 鉄骨造 ☐ コンクリートブロック造 ☐ その他()		
建築物に関する調査の結果	建築物の状況	築年数 <u>35</u> 年 棟数 <u>1</u> 棟 その他(老朽化しているが崩壊なし)(老朽化の程度、その他解体作業に関係しそうな事項を具体的に記入)		
	周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☒ 病院 ☐ その他() 敷地境界との最短距離 約 <u>1</u> m その他(<u>住宅密集地、交通量少ない</u>)		
建築物に関する調査の結果及び工事着前に実施する措置の内容	建築物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容	
	作業場所	作業場所 ☐ 十分 ☒ 不十分 その他(<u>前面道路の使用必要</u>)	建設機械の設置場所がなく、前面道路使用許可を得る (分別解体、廃材搬出のスペース確保の方法を記入)	
	搬出経路	障害物 ☐ 有() ☒ 無 前面道路の幅員 約 <u>4</u> m 通学路 ☒ 有 ☐ 無 その他(<u>大型車交通不可</u>)	前面道路に交通誘導員配置(作業中) 前面道路の幅員が狭いため、2tトラックにて搬出する。 道路占用許可及び道路使用許可申請中 (搬出経路において支障等が生じる場合は、具体的な対策を記入)	
	残存物品	☒ 有(エアコン×2台) ☐ 無	〇〇日撤去、電気店引き取り予定 (有の場合処分・撤去等の方法を具体的に記入)	
	特定建設資材への付着物	☒ 有(吹付け石綿) (石綿その他特別の処理を要する付着物の種類を記入) ☐ 無	付着物については、適正に処理する 近隣対策及び諸官方届出済	
	他法令関係	石綿(大気汚染防止法・安全衛生法石綿則) ☒ 有 特定建設資材への付着(☒ 有 ☐ 無) ☐ 無		
	フロン(フロン排出抑制法)	☒ 有 (業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器のうちフロン類が使われているもの) ☐ 無	フロン類回収済	
その他				
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程		作業内容	分別解体等の方法
	①建築設備・内装材等		建築設備・内装材等の取り外し ☒ 有 ☐ 無	☒ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()
	②屋根ふき材		屋根ふき材の取り外し ☒ 有 ☐ 無	☒ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()
	③外装材・上部構造部分		外装材・上部構造部分の取り壊し ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	④基礎・基礎ぐい		基礎・基礎ぐいの取り壊し ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	⑤その他()		その他の取り壊し ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
工事の工程の順序		☒ 上の工程における①→②→③→④の順序 ☐ その他 その他の場合の理由()		
☒ 内装材に木材が含まれる場合		①の工程における木材の分別に支障となる建設資材の事前の取り外し ☒ 可 ☐ 不可 不可の場合の理由()		
建築物に用いられた建設資材の量の見込み		60 トン		
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み及びその発生が見込まれる建築物の部分	種類	量の見込み	発生が見込まれる部分(注)
		☒ コンクリート塊	10 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☒ ④ ☐ ⑤
		☐ アスファルト・コンクリート塊	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤
		☒ 建設発生木材	25 トン	☒ ① ☐ ② ☒ ③ ☐ ④ ☐ ⑤
(注) ①建築設備・内装材等 ②屋根ふき材 ③外装材・上部構造部分 ④基礎・基礎ぐい ⑤その他				
備考				

□欄には、該当箇所「レ」を付すこと。